

魅力と活力ある園・学校づくりのために

特色ある教育活動の展開

〔特色ある教育課程の編成〕

園・学校や地域の実態及び子どもたちの特性等を踏まえ、子どもたちが主体的・創造的に活動できるよう、特色ある教育課程を編成する。

〔指導方法の工夫改善〕

一人一人の特性等に応じた指導やグループ別指導、少人数指導、教員の協力的な指導、外部人材の活用など、指導の方法や体制の工夫改善を図る。

〔学校評価の活用〕

園・学校や地域の実態に応じて、教育目標の達成状況や教育活動の成果などについて適切な評価項目を定め、自己評価、学校関係者評価を実施し、それらの結果を活用して学校改善を図る。

教員の資質の向上

〔自己の意識改革〕

豊かな人権感覚と幅広い視野、実践的な指導力を身に付けるため、各種研修・公開講座等に積極的に参加し、自己申告評価制度を活用して、自己啓発に努める。

〔指導力の向上〕

目標に照らし、子どもたちの状況などを的確に把握して日々の教育活動に取り組むとともに、公開授業及び授業研究・教材研究などを積極的に行い、指導力の向上に努める。

〔園・学校の組織の強化〕

学校評価に基づき明らかになった園・学校での取組の成果や課題を全教職員が共有し、今後に向けた方策を検討することで、園・学校運営に参画する意識を高め、組織力の強化に努める。

家庭・地域との連携・協力

〔積極的な情報発信〕

保護者や地域住民の信頼と協力を得るために、教育内容や教育活動の状況及び学校評価の結果などについて、積極的な情報の発信に努める。

〔学校評議員制度の活用〕

学校評議員に学校運営の状況を十分説明するとともに、多様な意見を聴き取り、保護者や地域住民等の意向を反映した学校づくりを進める。

〔地域ぐるみの学校支援体制の充実〕

安全・安心な園・学校づくりや特色ある教育活動を進めるため、放課後活動の支援など学校と地域が連携する事業を活用しながら、地域ぐるみで学校を支援する体制づくりの充実を図る。

教育長メッセージ

教育基本法、学校教育法の改正などを踏まえ、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性や、たくましく生きるための健康、体力など「生きる力」を育むという理念を引き継ぎ、学習指導要領等が改訂され、平成24年度には、幼稚園、小学校に続いて中学校でも新しい学習指導要領等に基づく教育課程が全面实施となり、高等学校においても一部の教科から学年進行で実施されます。

私は常々、「子どもたちへの教育は、『愛』を基盤として行われなければならない。」と述べています。ここで言う「愛」とは「大切にやる心」です。子どもたちが自分を大切にするとともに、家族、隣人、地域を愛する心を育むことが大切であると考えています。そこで、「愛を基盤として、知力・体力・忍耐力を身に付けて、正々堂々と生きる子どもを育てる」を県教育委員会のスローガンとし、各種調査等の結果からみえる本県の子どもたちの状況を踏まえたさまざまな施策に取り組んでいるところです。

「全国学力・学習状況調査」などの各種調査等の結果から、本県の子どもたちは、学力は高いが学習意欲や規範意識は低く、体力も全国平均を下回っているということが分かっています。

こうした子どもたちの状況を踏まえ、平成23年度には「わくわくまなびフェスタ」「ふれあいフェスタ」「チャレンジ運動フェスタ」を開催しました。また、体力向上を図るための運動場芝生化促進事業、家庭における基本的な生活習慣の向上や規範意識の芽生えを培うための「おはよう・おやすみ・おてつだい」約束運動、規則正しい生活のリズム等を身に付けるとともに家庭での会話の一層の促進を図る「夏休み！ノーテレビ・ノーゲームデーチャレンジ大作戦」、学校・家庭・地域が連携して子どもの育ちを支援していく「学校・地域連携事業」を実施しています。

この指導の重点の内容を十分理解の上、教職員一人一人が専門性と使命感、情熱をもってこれからの教育に当たってほしいと思います。先生方の日々の教育活動を支援するために「奈良県先生応援サイト」を開設するなどの取組もはじまりました。次代を担う子どもたちが、将来に向けての夢や目標を抱き、その夢や目標に向かって努力し、自立した社会人に育っていくことを期待します。

平成24年1月

奈良県教育委員会教育長 富岡 将人

奈良県先生応援サイト開設

先生方の日々の教育活動に役立つ情報を共有し活用していただくために、「奈良県先生応援サイト」を開設しました。先生方の「分からない」「知りたい」という声をもとに、様々なジャンルの情報をまとめて掲載しています。頑張っている奈良県の先生を応援します！

「奈良県先生応援サイト」<http://www.nps.ed.jp/ouen/>

奈良県教育委員会事務局学校教育課 〒630-8502 奈良市登大路町30番地 TEL. 0742-22-1101(代表)
http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-11935.htm

毎年11月1日は「奈良県教育の日」 毎月第3日曜日は「家庭教育・家庭の日(いきいきサンデー)」



平成24年度

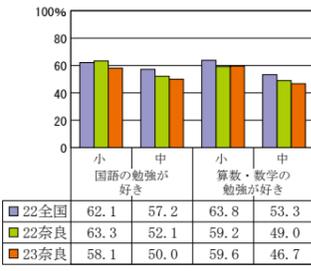
学校教育の指導の重点

「愛を基盤として、知力・体力・忍耐力を身に付けて、
正々堂々と生きる子どもを育てる」ために…



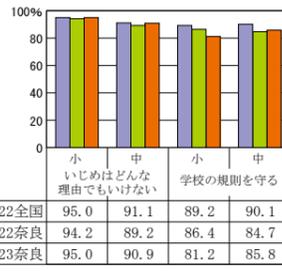
奈良県教育委員会

国語、算数・数学が好きな児童生徒



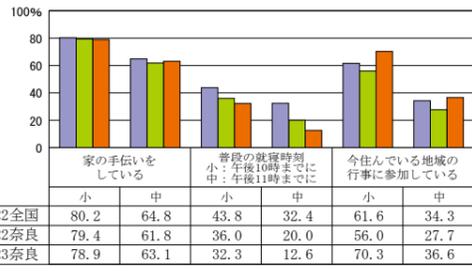
平成22年度 全国学力・学習状況調査(文部科学省)より
平成23年度 奈良県学習状況調査より

児童生徒の規範意識



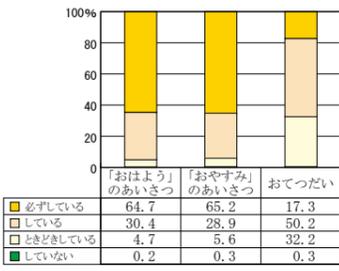
平成22年度 全国学力・学習状況調査(文部科学省)より
平成23年度 奈良県学習状況調査より

児童生徒の生活の様子



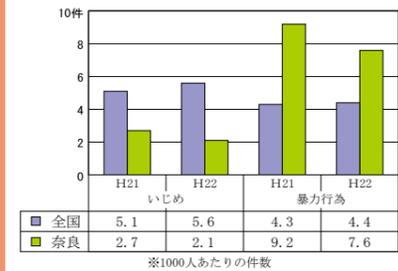
平成22年度 全国学力・学習状況調査(文部科学省)より
平成23年度 奈良県学習状況調査より

幼児の生活の様子



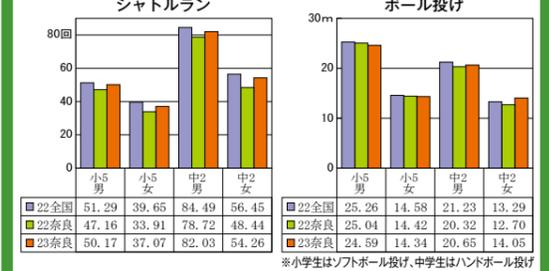
平成23年度「おはよう・おやすみ・おてつだい」約束運動
保護者アンケート調査(奈良県教育委員会)より

いじめと暴力行為の発生件数



平成22年度 児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査
(文部科学省)より

体力テスト結果



平成22年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査(文部科学省)より
平成23年度 奈良県児童生徒の体力テスト調査より

確かな学力の育成

重点 基礎・基本の定着を図り、それらを活用する力を育む

幼稚園

調べる、比べる、尋ねるなどの様々な手法を組み合わせ、楽しみながら課題を見だし解決する活動を工夫する。

小学校

個に応じた指導の充実とともに、基礎的・基本的な知識及び技能を定着させるため、繰り返し学習などの学習活動を工夫する。

中学校

個に応じた指導の充実とともに、小学校の学習内容を考慮し、基礎的・基本的な知識及び技能を定着させるため、繰り返し学習などの学習活動を工夫する。

高等学校

個に応じた指導や中学校における学習との系統性を考慮し、知識及び技能を定着させるため、学習活動を工夫する。

特別支援学校

「個別の指導計画」に基づいた効果的な学習指導を展開する。発達段階、障害の状態及び特性等に応じた自立を目指し、自ら働きかける力を養う。

支援するための取組

●わくわくまなびフェスタの開催

子どもの「学習意欲の向上」を目指し、県内の学校関係者、諸団体の多様な教育力を結集し、様々な学びの場の具体例を示すことで、子ども、教員、保護者に学びへの気付きとなる機会を提供する。

●奈良県小学校・中学校教科等指導資料

学習指導要領改訂の趣旨及び本県の課題を踏まえた指導資料を示し、児童生徒への指導に役立てるとともに、新学習指導要領の円滑な実施を図る。

●奈良県学校改善支援プラン

全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、各市町村教育委員会や小・中学校が、このプランを活用し、自らの取組の課題を明らかにし、授業改善等に役立てる。

●確かな学力の育成に係る実践的調査研究

各学校や地域の実情・課題に応じた授業、指導方法の工夫・改善についての実践研究、全国学力・学習状況調査の結果を活用した調査研究を実施し、児童生徒の学力の向上を図る。

●学力向上フォーラム

県内小・中・高等学校における学力向上を図る取組や成果について実践発表等を行うとともに、全国学力・学習状況調査の分析結果から、課題解決への道筋を探る。

●「奈良の伝統、文化、自然等に関する学習」の指導資料(高等学校)

奈良の伝統、文化、自然等に関する探究的な学習の指導資料を作成し、生徒への指導に役立て、国際社会の中で新しい文化を創造する力を養う。

など

豊かな人間性の育成

重点 正しく判断し、行動する力を育む

幼稚園

身近な人々との関わりを深め、愛情や信頼感、他の人への思いやりを育む。自然や身近な動植物に親しませ、生命を大切にすることを育む。協同して遊ぶことを通して、よいことや悪いことに気付かせ、ルールを守ろうとする態度を養う。

小学校

自分や他の人を理解し、生命を大切にすることを育む。責任感を育む。集団宿泊活動や自然体験活動などを通して、基本的な生活習慣や社会生活上のルールを身に付けさせる。

中学校

自分や他の人への理解を深め、生命を大切にすることを育む。人権を尊重する心や自律心、責任感、正義感を育む。職場体験活動やボランティア活動などを通して、社会生活上のルールやマナーを身に付けさせ、社会参画しようとする態度を養う。

高等学校

人権尊重の精神と生命に対する畏敬の念を深め、他者と共に主体的に生きる能力と態度を育てる。就業体験やボランティア活動などを通して、法やルールの意義を理解し、社会の一員としての自覚を深めさせる。

特別支援学校

経験の拡充を図ることで、人の心情を理解する力や判断力を身に付けさせる。集団に参加することを通して、自分の役割を理解し、行動する力を育む。

支援するための取組

●ふれあいフェスタの開催

動物とのふれあい、動物についての学習や体験を通して、命の尊さを実感し、思いやりの心や規範意識を育む。

●「おはよう・おやすみ・おてつだい」約束運動

親子の関わり方を見直すことを通して、家庭の教育力を向上させ、幼児期における子どもの基本的な生活習慣の向上や規範意識の芽生えを培う。

●夏休み!ノーテレビ・ノーゲームデーチャレンジ大作戦

夏休み期間中に、テレビを見たりゲームをしたりする時間を、読書や学習、家庭での会話などに活用することを通して、規則正しい生活のリズムや基本的な生活習慣などを身に付けるとともに、家庭での会話の一層の促進を図る。

●人権教育資料等の作成

「人権教育の推進についての基本方針」などを踏まえ、知識・態度・技能面のバランスのとれた系統的・体系的な人権教育のための教材を作成し、人権尊重の社会づくりに向けて主体的に行動できる児童生徒の育成に役立てる。

●生徒指導ガイドライン

児童生徒の規範意識の醸成を図るため、生徒指導の在り方についてのガイドライン(小・中学校向け、高等学校向け)を活用し、生徒指導の充実に関与させる。

●道徳教育「奈良県郷土資料」

郷土奈良の自然、伝統と文化などを取り上げ、小学校低、中、高学年及び中学校用の郷土資料を作成し、郷土を愛する心を育む道徳の時間等の指導の充実に関与させる。

など

たくましい心身の育成

重点 体力向上に向け、進んで運動に取り組む力を育む

幼稚園

いろいろな遊びの中で十分に体を動かし、伸び伸びと行動することを通して、充実感や満足感を味わわせ、健康な体づくりの基礎を培う。

小学校

運動遊びや一校一運動などを行うことにより、進んで運動を楽しもうとする態度やいろいろな運動ができる力を育てる。

中学校

運動部活動など、様々な運動の経験を通して、体力向上を図るとともに意欲的に運動に取り組む態度や生涯にわたって運動に親しむ資質を育てる。

高等学校

運動・スポーツに主体的に取り組むことにより、生涯にわたって運動を楽しむ力を身に付けるとともに、自らの健康を維持できる実践力を育てる。

特別支援学校

自分にあった適切な運動の経験を通して、運動への意欲を高めるとともに、強く活動力のある身体を育む。

支援するための取組

●チャレンジ運動フェスタの開催

各学校が取り組む「外遊びチャレンジ運動」の成果を発揮し、記録に挑戦する「子どもチャレンジ運動大会」及び保護者と一緒に様々な運動種目に挑戦する「親子でチャレンジ」をフェスタとして開催し、外遊びの活性化を目指す。

●奈良県幼児の運動能力等実態調査

幼児の運動能力や生活習慣等の実態を明らかにし、子どもの運動能力の向上に役立てる。

●学校体育必携

各学校においてこの必携を活用し、体育指導の重点や体力テストの実施方法等を周知するとともに、各学校の体力向上の取組に役立てる。

●運動部活動への外部指導者の派遣

専門的な指導のできる指導者不在の運動部へ適切な指導者を派遣し、顧問と協力して運動部活動の充実と活性化を推進する。

●運動場芝生化の促進

運動場の芝生化による効果や実践校の取組を広く知らせることにより、運動場芝生化を促進し、子どもたちの体力向上を目指す。

●健康教育の推進

子どもの心身共に健やかな成長に役立てるため、健康教育研修講師の派遣や、教員と児童精神科医との電話相談など、子どもの実態に応じた健康教育を推進する。

など

道徳教育の充実

子どもたちが基本的な生活習慣、規範意識、自他の生命の尊重、自尊感情、他者への思いやりや郷土に対する誇りや愛情などの道徳性を養い、主体的に判断し、適切に行動する力を育てるため、道徳教育の充実を図る。

キャリア教育の充実

子どもたちが肯定的な自己理解を深め、自己有用感を獲得し、社会で自立して生きていく力を身に付けられるよう、「奈良県キャリア教育プラン」に基づくキャリア教育の充実を図る。

安全教育の充実

子どもたちが自然災害や犯罪、事故等の危険から自ら身を守るために、危険予測の能力を高め、危機回避の力を身に付けられるよう、実践的な防災教育を含めた安全教育の充実を図る。

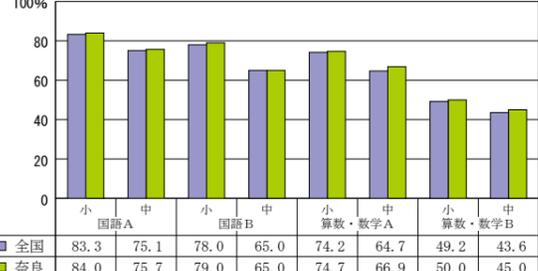
食育の充実

子どもたちが生涯にわたり健康で生き生きと生活するために、食に関する正しい知識を習得するとともに、食に興味をもち、望ましい食生活を実践できるよう、家庭・地域と連携した具体的・実践的な食育の充実を図る。

特別支援教育の充実

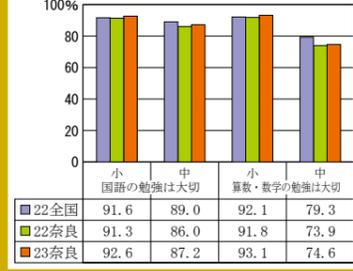
発達障害を含む障害のある子どもたちの自立や社会参加に向け、主体的に取り組めるよう、一人一人の教育的ニーズを把握し、その能力を最大限に伸ばすため、適切な指導及び必要な支援を全ての学校において行う。

各教科の平均正答率



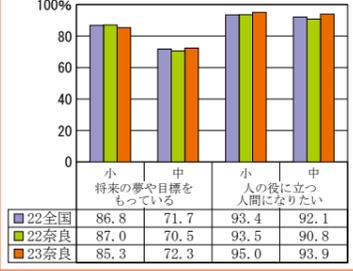
平成22年度 全国学力・学習状況調査(文部科学省)より

国語、算数・数学に対する意識



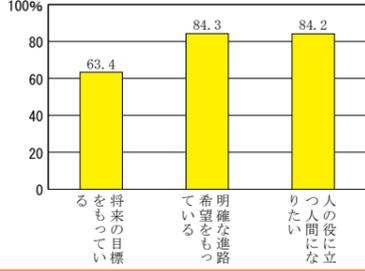
平成22年度 全国学力・学習状況調査(文部科学省)より
平成23年度 奈良県学習状況調査より

児童生徒の将来への意識



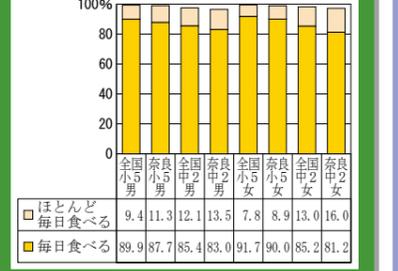
平成22年度 全国学力・学習状況調査(文部科学省)より
平成23年度 奈良県学習状況調査より

高校生の将来への意識



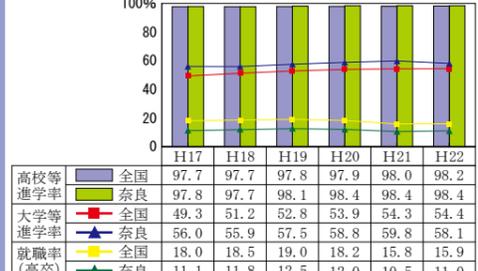
平成20年度 高校生の学校生活などに関する意識等調査
(奈良県教育委員会)より

朝食摂取率



平成22年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査
(文部科学省)より

高等学校等(縦棒)と大学等(折線)進学率と就職率(折線)



平成23年度 学校基本調査結果報告書(文部科学省)より